

- ▶ 川越町では、森林が無い場合、木材利用を通じ住民への森林や林業への理解の醸成に取り組み、森林整備の促進を間接的に支援する方針。
- ▶ 令和元年度においては、以下の取組により、公共施設へ木製備品の導入を行った。
 - ・ 川越北小学校の増築工事に合わせ、教室へ木製棚の設置を行い、小学生が直接木に触れることにより、森林や林業への理解を促した。
 - ・ 令和2年度においても、公共施設への備品導入等を図る。

□ 事業内容

1 公共施設の木質化事業

- ・ 三重県産材を活用した、木製棚を川越北小学校に設置。

【事業費】 1,410千円（うち譲与税656千円）

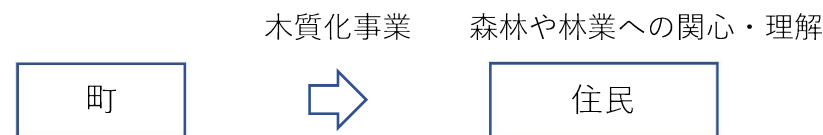
【実績】 木材使用量 1.50m³



（事業1：公共施設木質化の様子）

□ 事業スキーム

- 1 公共施設の木質化事業



□ 工夫・留意した点

- ・ 小学校の教室に木製棚を設置することで、学校生活の中で、木製品に触れることにより、木について学ぶきっかけや、森林や木材への理解を促した。

□ 基礎データ

①令和元年度譲与額	656千円
②私有林人工林面積（※1）	0ha
③林野率（※2）	0%
④人口（※3）	14,888人
⑤林業就業者数（※4）	0人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より